

9:50



檜ヶ峯古墳

明治時代の絵図によると、このあたりに数軒の家が建っていたようです。

10:20



稲荷山古墳



越部1号墳 (調査時)

10:55



越部ハサマ遺跡周辺



石塚遺跡

晴れた日には、吉野の山々が眺められます。

11:05



越部古墳周辺

13:00

古代の謎に包まれた古墳・遺跡散策ルート

古墳と遺跡が物語る、古代ロマンの舞台を歩く。

想像の翼を広げ、古代の歴史へ

いにしへの時代に生きた人々の、未だ知られざるロマンを求め、古墳や遺跡を訪ねてみましょう。全国の行者が旅の無事を祈り、石を積み上げたという石塚遺跡。奈良県内で3例しかない珍しい「石柵」をもつ檜ヶ峯古墳。

どちらも今後の調査が待たれますが、解明されていない謎があなたの想像をかき立てられるはずです。すでに埋め戻されているものの、縄文時代の墓地と弥生時代の円形住居が見つかった越部ハサマ遺跡。周辺の広大な風景は、縄文時代から弥生時代の生活を偲ばせてくれるでしょう。



土田遺跡から採取された大淀町最古の須恵器。杉本記念文化センターで展示されています。

9:30 【近鉄六田駅】

国道沿いにある、住居風の小さな駅舎から出発。



▼ 約1.2km (徒歩約20分)

9:50 【檜ヶ峯古墳】

標高約210mの丘陵上に位置する。横穴式石室内の「石柵」は、紀ノ川下流域の岩橋千塚古墳群につながる特徴とされる。

●奈良交通バス・大淀町ふれあいバス「馬佐口」下車。



▼ 約0.8km (徒歩約15分)

10:20 【稲荷山古墳】

新野稲荷神社の境内にある横穴式石室墳。石室内に石碑が安置されていることから、後世に行場として使われていたことが分かる。

●奈良交通バス・大淀町ふれあいバス「新野稲荷前」下車。

▼ 約1.2km (徒歩約20分)

10:55 【越部ハサマ遺跡】

平成5(1993)年の発掘調査で、縄文時代晩期の墓地と弥生時代中期の円形住居が見つかった。

現在は埋め戻されており、遺跡の解説板が立てられている。

●近鉄越部駅から徒歩約10分。



遺跡の調査風景

▼ 約0.1km (徒歩約2分)

11:05 【越部古墳】

6世紀後半から7世紀にかけて造営された横穴式石室2基が、平成9(1997)年の発掘調査で見つかった。1号墳からは、鳳凰をかたどった装飾大刀の柄尻部分が発見されている。現在は埋め戻されている。



越部の古代寺院

越部古墳からは、「堂」と書かれた平安時代中期の墨書土器が見つかっており、『日本霊異記』に記された「越部阿堂」に関する資料として注目されている。

●近鉄越部駅から北へ徒歩約10分。

▼ 約3.5km (徒歩約40分)

13:00 【石塚遺跡】

車坂峠にある直径約30mの塚で、握りこぶしから人の頭サイズの石を積み上げて作られている。

五輪塔の一部が付近で見つかった。

五輪塔

石塚付近には、鎌倉時代の銘文が書かれた石塔の一部を使って、五輪塔が復元されている。

●近鉄下市口駅からタクシーが便利。



▼ 約3.0km (徒歩約35分)

13:50 【近鉄下市口駅】

大淀町の中心地にある下市口駅に到着。すぐ南側には、商店街が続く。

